

# (一社) 九州観光推進機構 活動レポート

— 2014年12月号 —

## 11月のトピックス

### ○ 欧州WTMロンドン出展及びパリ・アムステルダム旅行会社プレゼン・商談会開催

(11月3日～7日:ロンドン、パリ、アムステルダム)

英国ロンドンにおいて、B to B旅行博覧会World Travel Market (WTM) に参加しました。WTMには、4日間で5万2千人が来場し、九州ブースでは60社以上のバイヤーと商談・情報発信することができました。

また、フランス・パリ及びオランダ・アムステルダムの2市場において、現地の旅行会社及びメディア等を対象とした「九州観光説明会・商談会」を開催しました。九州からは4県(福岡・佐賀・長崎・大分)が参加し、パリでは20社23名、アムステルダムでは11社14名に九州の魅力を発信しました。

今後は九州と欧州旅行会社との連携を強め、一人でも多くのお客様に来訪してもらえるように取組んでいきたいと思っております。



### ○ 香港テレビ番組招請(11月4日～13日:九州7県)

香港TVBのJ2チャンネルで放送されている「3日2泊旅行団」の九州編放映のため、出演者等5名を招請しました。取材期間は1週間で、個人自由旅行者の目線で捉えた九州の観光地を取材しました。取材では、特に糸島におけるフォレストパークや夕日の眺めが印象深かったとの感想がありました。今回の取材の様子は、12月以降、4回に亘って放送される予定です。



### ○ 台北国際旅行博ITF2014出展(11月7日～10日:台北)

台湾最大の旅行博覧会である「第22回台北国際旅行博(ITF2014)」に出展し、来場者に対し九州のPRを行いました。総来場者数は337,319人と、過去最多を更新しました。来場者からは旅行行程やJR Kyushu Rail Passに関する質問が多く、台湾では個人自由旅行の多いことが伺えました。また、JNTOのミニステージで九州クイズ大会や別の会場では九州観光プレゼンテーション等を行い、多くの来場者で盛況でした。また、会期中に開催されたJNTO主催の説明会・商談会に参加し、現地旅行会社との商談や現地マスコミ取材など積極的なPRを行いました。



## ○ 2014年度第3回理事会を開催(11月13日:福岡市)

本年度第3回目の理事会を開催しました。

会議では、事業計画の変更や補正予算を含む審議事項3件、報告事項3件について説明の後、審議が行われ、原案どおり承認をいただきました。

また、韓国人観光客へのプロモーションのあり方や、飲食店メニューの英語化の必要性、インバウンドにおける国ごとの誘客戦略の重要性等について、ご質問・ご意見をいただきました。これらを踏まえ、事業を推進していきたいと考えています。



## ○ 中国国際旅遊交易会(CITM2014)出展(11月13日~16日:上海)

中国国家旅遊局主催でアジア最大級の国際旅行博覧会へ出展し九州の観光PRを行いました。当博覧会へは3年ぶりの出展となりましたが、アンケート調査、クイズ大会、手湯体験、微信(中国版フェイスブック)による情報発信、観光地擬似体験撮影など多彩な企画で、連日多くの来場者で盛況でした。

また、会期中に開催されたJNTO主催の説明会・商談会に参加し、現地旅行会社との商談や現地マスコミ取材でも積極的なPRを行いました。



## ○ 2014秋九州オルレフェア(11月15日~30日:大分、宮崎、熊本、長崎、佐賀)

「九州オルレ」を国内向けに広くPRし、体験していただくため、九州オルレ認定地域協議会(事務局:(一社)九州観光推進機構、武雄市)として、11月15日から11月30日までの土日祝日に、7コースでそれぞれイベントを実施しました。イベントは各コースの地元で準備・運営を行っていただき、郷土芸能の披露やその土地ならではの物産のふるまい、参加記念品など多彩な内容で賑わいました。期間中は、7コース合計で900名を超えるお客さまにご参加いただきました。

- ・ 11月15日(土) 九重・やまなみコース
- ・ 11月16日(日) 奥豊後コース
- ・ 11月22日(土) 高千穂コース
- ・ 11月23日(日) 天草・松島コース
- ・ 11月24日(月・祝) 天草・維和島コース
- ・ 11月29日(土) 平戸コース
- ・ 11月30日(日) 武雄コース



## ○ 久留米観光コンベンション国際交流協会にて講演(11月19日:久留米市)

公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会情報交換会が、久留米市で開催され、当機構高橋事業本部長が「九州観光戦略と地域活性化~久留米の地域活性化に向けて~」と題し基調講演を行いました。少子高齢化、人口減少、財政赤字、増大する社会保障費と大きな課題を持つ九州にとって観光産業は有望な成長戦略です。講演では第二期九州観光戦略と機構の取り組み、そしてMICE関連にも触れながら「観光は裾野の広い産業で平和産業でもあり、皆様とともに交流人口を増やし久留米、そして九州の経済に貢献していきたい」と結びました。



## ○ 平成27年度観光素材説明会・相談会を実施(11月19日～20日:金沢市)

北陸地区で初めてとなる「平成27年度九州観光素材説明会・相談会」、「おんせん県おおいたDC」を金沢都ホテルで開催しました。北陸3県(福井、石川、富山)を対象に、旅行社13社・45名、メディア1社・2名、県関係30名の計77名の参加をいただきました。北陸では九州の情報が不足気味ということで、参加者の方には大変喜ばれました。

来年3月に北陸新幹線が開通しますが、現地の旅行社は九州に興味があり、今後誘客増への期待が高まります。これからも、九州の情報を効果的に発信していきたいと考えています。



## ○ フィリピンでの訪日旅行セミナー・相談会への参加(11月19日、21日:マニラ、セブ)

JNTO主催のフィリピン相談会に参加しました。マニラではバイヤー56団体・セラー26団体、セブではバイヤー30団体・セラー18団体による活気ある相談会となりました。フィリピンでは中小旅行会社が多く存在し、友好関係にある旅行会社同士と一緒にブースで商談するケースが多くありました。また、人口の90%以上がカトリックと言われており、長崎の巡礼ツアーに興味を示す旅行会社が多かったのが印象的でした。

フィリピンから日本への来訪者数は好調に推移しているため、今後も積極的な情報発信を心がけ九州への来訪者数の拡大を図っていきます。



## ○ 訪日観光・通訳案内士及び査証制度説明会への参加(11月20日:広州)

観光庁、JNTO香港及び在広州日本国総領事館主催の訪日観光・通訳案内士及び査証制度説明会に参加し、華南地区の旅行会社52社に対し九州観光のプレゼンを行いました。広州との直行便はないものの、香港経由での新しいルートを提案するなどして、九州観光の魅力をアピールしました。商品造成に積極的な旅行会社もあり、今後の広州から九州への誘客拡大が期待されます。



## ○ クルーズ・ SHIPPING・アジア・パシフィック2014出展(11月20日～21日:香港)

九州運輸局・各県・政令都市のクルーズ関係者と共に、香港で開催されたアジア最大級のクルーズ専門見本市である「クルーズ・SHIPPING・アジア・パシフィック2014」へ出展し、海外のクルーズ船社へ九州各地の港湾や観光地等を紹介し、九州への寄港を働き掛けました。また、カイトック・クルーズターミナルの見学や、スタークルーズ社、香港EGL旅行社へのセールスを行いました。



## ○ 長崎県スポーツツーリズム研修会にて事例発表(11月21日:長崎市)

長崎県スポーツツーリズム研修会(事務局:長崎県国体・障害者スポーツ大会部県民スポーツ課)が、長崎県立美術館ホールで開催され、当機構企画部杉島次長が「滞在型・参加型スポーツイベント(スポーツ合宿・マラソン大会等)による地域活性化」について最近の全国の事例も含めながら説明しました。その後の分科会では、地域連携・体制強化等今後の活動活性化に向けたワークショップを実施し、それぞれの地域の資源の洗い出しから隣接市町村との連携等、活発な意見交換が行われました。



## ○ 九州教育旅行現地視察会を実施(11月22日~24日:福岡、大分、佐賀、長崎)

関東地区の中学校の教職員を中心に、九州の最新の教育旅行素材を体験していただくため、北部九州4県の修学旅行現地視察研修を実施しました。

定員20名を超える参加申し込みをいただき、参加された先生方は熱心に各地で視察し、各県の最新情報に聞き入っていました。特に、初めて訪れる方が多かった南島原での体験学習プログラムや大刀洗や長崎での平和学習、また各県のプレゼンでの農家民泊の情報提供が好評でした。そして、教育旅行受け入れに対する熱意を感じていただき、各地のおもてなしの姿勢に好感を持っていただきました。

すでに関西など他の方面で実施している学校からも、今後の修学旅行の方面を検討するに当たり大変参考になったとの意見を多くいただきました。また、今後も今回のような現地視察会の継続実施について要望がありました。

なお、この視察会については、参加者レポートを基に教育家庭新聞の1月1日号に特集記事として掲載される予定です。



大刀洗平和記念館



吉野ヶ里歴史公園



軍艦島上陸



大分県修学旅行説明

## ○ 香港メディア(活字媒体)招請(11月24日~28日:福岡、佐賀、熊本、鹿児島)

香港の活字媒体のメディア6社・8名を招請し、佐賀県、熊本県、鹿児島県の取材を行いました。佐賀県では有田焼カフェや紅葉を、熊本県では阿蘇の自然を、鹿児島県では砂むし温泉や屋久島等の個人自由旅行を意識した素材を取材し、九州の魅力をPRしました。

特に、紅葉の美しさや屋久島の自然が好評のようでした。また、阿蘇では噴火の様子が確認でき、迫力ある取材ができたとのことでした。

今後、香港の雑誌や新聞、フリーペーパー等で、今回の取材の様子が紹介されます。



## ○ マレーシア華僑系旅客取扱旅行会社招請

(11月24日～28日:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島)

マレーシアの訪日旅行を取り扱う大手旅行会社4社・4名を招請しました。5日間の行程で、新幹線、指宿の砂蒸風呂、柿狩り、鳥栖プレミアムアウトレット等多彩なコースを体験し、どの観光地も好評でした。また、最終日には夕食に屋台を回り、参加者の皆さんに心に残る視察旅行となったようです。これを機に、旅行会社との連携を強め、より多くのマレーシア人が九州に来ていただけるよう努めていきたいと思えます。



## ○ 欧州旅行会社及びメディア招請(11月24日～12月1日:福岡、佐賀、鹿児島、長崎、熊本、大分)

欧州の英国・フランス・オーストリアからメディア・旅行会社10社12名を招請しました。一週間程度で、6県で九州の自然や温泉や観光列車(ななつ星)をはじめ、取材して頂きました。阿蘇山のヘリコプター、黒川温泉、赤絵座(有田町)にて絵付け等を体験し、九州の新たな魅力を知ってもらうことができました。今回招請したメディアは、有名な「ナショナルジオグラフィック」等に掲載され、新しい旅行先として九州を発信してもらいます。今後も一人でも多くの方に九州に来てもらえるよう、情報発信していきたいと思えます。



## ○ 総合特区担当者会議を開催(11月25日:福岡市)

九州7県及び福岡市で取り組んでいる九州アジア観光アイランド総合特区に係る担当者会議を開催しました。今年度2回目となる会議では、九州で初めて実施する「タイ語」の特区ガイド(地域活性化総合特別区域通訳案内士)育成研修を12月3日から募集開始すること等を確認しました。

また、来年度の研修方針等について、意見交換を行いました。

今後も、九州で誕生した特区ガイドの活用を図るため、より効果的な事業運営に取り組んでいきます。

九州アジア観光アイランド特区ガイド育成研修(タイ語)の受講生を募集します!

募集期間 2024年12月3日～12月31日  
研修期間 2025年2月7日～3月21日  
(12日間)  
大分会場 2025年2月7日～3月6日

【研修による事業展開の期待】  
特別区域に「特別ガイド」を養成し、140円超を稼ぐため、観光客の滞在時間延長、消費額向上、地域活性化に貢献します。また、観光客の滞在時間延長、消費額向上、地域活性化に貢献します。

【研修内容】  
1. 特別区域の概要  
2. 特別区域の観光資源  
3. 特別区域の観光客のニーズ  
4. 特別区域の観光客のニーズに応じた接客対応  
5. 特別区域の観光客のニーズに応じた接客対応

【お問い合わせ先】  
九州観光推進機構  
〒810-0001 福岡市中央区天神1-11-17 福岡ビル4階

## ○ タイの旅行会社招請(11月26日～30日:鹿児島、宮崎、熊本、大分)

T T A A (タイ旅行業協会) に加盟する旅行会社を中心として、バンコク=鹿児島・大分間のチャーター便を利用しての視察旅行を実施しました。5日間の行程で、バンコクから福岡への定期便では設定しにくい東縦断コースを体験してもらいました。絶景の紅葉時期と重なったこともあり、阿蘇から別府に向かうバスからは色とりどりの山々が特に印象的だったとのこと。タイでは日本を取り上げるテレビの旅番組が人気となっていますが、旅行に九州を選んでもらえるよう、今後もタイに九州の魅力を発信していきたいと思えます。



## ○ 第13回環黄海経済・技術交流会議にて発表(11月27日:佐世保市)

長崎県佐世保市ハウステンボスにおいて第13回環黄海経済・技術交流会議が「環境・エネルギー」「観光」をテーマに開催されました。日中韓フォーラム後の本会議の中で、当機構高橋事業本部長が「九州観光推進機構の取組と九州の観光戦略」をテーマに発表を行いました。内容は第二期九州観光戦略、九

州のブランドイメージ戦略、特区ガイド、九州オルレ、中国旅行社との連携など韓国と中国市場に向けた最近の取組にも触れ、「相互に観光客受け入れ環境整備を進め3か国間の交流人口拡大を図り、平和産業である観光振興による環黄海地域の経済発展に皆様と共に繋げていきたい」と結びました。

## ◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

### ○ 人事往来

12月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願い申し上げます。

【転入者】 [ ] 内は派遣元

・国内誘致推進部 次長 西村 菜穂子 [㈱コアラ]

### ○ 12月以降の主な事業

- ・台湾人気ブロガー招請（12月1日～5日、1月29日～2月2日：九州各県）
- ・2014年度特区ガイド育成研修（タイ語）受講者募集開始（福岡・大分会場）  
(12月3日～1月13日)
- ・九州オルレマスコミ・旅行社等招請（12月5日～8日：福岡、大分）
- ・中国山東省旅行社招請（12月10日～14日：福岡、佐賀、長崎、大分）
- ・Kyushu Tourism Golden Awards 表彰式（12月11日：ソウル）
- ・中国遼寧省旅行社招請（1月～2月初旬：福岡、佐賀、熊本、宮崎）
- ・九州観光ボランティアガイド研修会 in 宮崎（1月26日～27日：宮崎市）
- ・九州・沖縄観光物産展への出展（1月24日～25日：大阪府豊中市）
- ・第2回九州オルレトークショー（1月31日：福岡市）
- ・2015早春九州オルレフェア（2月14日～3月1日：鹿児島、佐賀、福岡）
- ・TITF #16 出展（2月25日～3月1日：バンコク）

#### ◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 吉田

TEL:092-751-2943 (代表)

092-751-2946 (国内誘致推進部ダイヤル)

092-751-2947 (海外誘致推進部ダイヤル)

FAX:092-751-2944

E-mail: infokyushu@welcomekyushu.jp